

英語科学習指導案

実施日 平成23年10月21日
実施クラス 1年5組
授業者 鈴木訓文・内海由江

1 単元名 Unit 6 グリーン家の人々

2 単元設定の理由

文法としては、三人称単数現在形が新出となる重要な単元である。主語の数によって動詞の形が変わるという、日本語にはない英語の特徴をしっかりと定着させたい。また、場面設定としては「家族」という最も身近な人物を紹介している場面である。自分の身近な人について表現する活動を中心としながら、「歌舞伎」などの日本文化についても伝えたい。

3 単元の指導目標 新学習指導要領 (3)エ-(7)

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

グループワークやペアワークで意欲的に会話する。

(2) 表現の能力

三人称単数現在形の文を用いて、身近な人や有名人など、第三者のことを簡単に紹介することができる。

第三者について尋ねたり、それに答えたりすることができる。

(3) 理解の能力

第三者のことを紹介した英文を聞いたり読んだりして理解することができる。

(4) 言語や文化についての知識・理解

三人称単数現在形の s や does の用法を理解し、表現できる。

「歌舞伎」など、日本を代表する文化について理解を深める。

国際語としての英語の役割について関心をもつ。

4 単元の指導計画と評価計画(7時間扱い)

| | 主な学習活動 | 評価規準 |
|-------------|------------------------|----------------------------------|
| 第1時 | 三人称単数現在形の s の導入 | 三人称単数現在形の s の用法を理解できる。(語) |
| 第2時 | Unit 6 Part 1 | 第三者を簡単に紹介することができる。(観) |
| 第3時 | 三人称単数現在形の 疑問・否定文の導入 | Does/doesn't の用法を理解できる。(語) |
| 第4時 | Unit 6 Part 2 | 三人称単数現在形を用いた文を理解できる。(理解) |
| 第5時 (本時) | Unit 6 Part 3 (本時) | 第三者について質問したり、それに答えたりすることができる。(観) |
| 第6時 | 三人称単数現在形のまとめ | 三人称単数現在形の文を使って会話できる。(関心) |
| 第7時 | Unit 6 のまとめ | 様々な三人称単数現在形の文を書くことができる。(観) |

5 授業改善のポイント(言語活動の充実の観点から)

(1) 授業の中で様々な場面を設定し、生徒同士で会話する活動を多く取り入れる。その活動の中で、互いに教え合い、学び合いながら英語を学習していく習慣を身に付けさせる。

(2) 1単位時間の授業の中に、4技能の活動をバランスよく取り入れ、総合的な英語力を身に付けさせる。

6 本時の授業

(1) 本時のねらい

第三者について質問したり、それに答えたりすることができる。(表現の能力)

(2) 本時の展開

| | 学習内容 | 教師の働きかけ | 予想される生徒の反応 | 指導上の留意点(備考) |
|-----------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 導入 7分 | 挨拶 | 挨拶する。 Good afternoon. How are you? | 挨拶する。 Good afternoon. Fine, thank you. | しっかり声を出して応答させる。 |
| | Listening Practice | リスニングプリントを配布し、CDを聞かせ、問題に取り組ませる。 | リスニングプリントに集中して取り組む。 | 静かに集中し、必要があればメモを取らせる。 |
| 展開 38分 | Review (Pattern Practice) | 様々な主語を言い、その主語に対応する疑問文・否定文を素早く答えさせる。 ポイントを板書する。 | 主語を聞いて Do/Does、don't/doesn't を区別して素早く答える。 | テンポよく答えさせる。 板書は復習なので写させず、集中して聞かせる。 |
| | Communicative Activity | ワークシート配布 対話活動で使う文を練習する。 Activityについて説明した後、生徒同士で、または学力向上支援講師と会話をさせる。 | 対話活動をする。 [例] A: Does Jiro like P.E.? B: No, he doesn't. He doesn't like P.E. He likes Japanese. | 積極的にActivityに参加するように指導する。 第三者について質問したり、それに答えたりできているか。(観) [ワークシート] |
| | Writing | Activityが終わった生徒から、会話した英文をワークシートに書かせる。 | | 正しく英文を書いているか机間指導する。 |
| | Textbook(p.53) CD Listening | 本文のCDを聞かせ、内容について質問する。 ・ Who is Bin? ・ Does Bin speak Japanese? ・ Does Bin speak English? | CDを聞き、質問に答える。 He's Koji's friend. No, he doesn't. He doesn't speak Japanese. Yes, he does. | まずは教科書を見ずに聞かせ、内容を理解できたかどうか質問する。その後教科書を開かせる。 教師の質問に正しい英文で答えさせる。 |
| まとめ 5分 | New Words | Word Cardを使い、新出語句の発音・意味を確認する。 | | |
| | Reading | 本文の内容を確認しながら音読練習をさせる。 Choral / Buzz / Look Up | 音読練習をする。 | しっかり声を出して音読させる。 |
| まとめ 5分 | まとめ | 三人称単数現在形の疑問文・否定文のポイントを再確認する。 | 説明を聞く。 | |
| | 次回の連絡 挨拶 | 挨拶する。 | 挨拶する。 | |

7 本時の板書計画

| | | | |
|-------------|--------------------------------|-------------|----------------------------|
| POINT(p.53) | Does / doesn't を使って表現しよう | | |
| He | } <u>Does</u> / <u>doesn't</u> | I | } <u>Do</u> / <u>don't</u> |
| She | | You | |
| Jiro | | We | |
| Kumi | | Ken and Emi | |
| | 1人(I、You以外) | | 2人以上、I、You |